

科目名	現代企業論		
授業形態	講義	学年	1
開講時期	2022 年度 前期	単位数	2
担当教員	平澤 賢一		
内容および計画	<p>【内容・計画】 本講義で対象とする企業とは「株式会社」である。 まず、株式会社や株式市場の基本的な仕組みを概観する。その過程で「上場」の意義や、企業と出資者（所有者）に関わる諸問題を論じる。国内外の企業環境も意識し、現代企業が直面する諸問題について事例やゲームを交えて分かり易く解説する。『会社四季報』を用いてのグループワークも予定している。本講義を通じ、現代社会における会社の存在意義について考察する。</p> <p>【履修対象者】 経営学の基礎を学びたい方。「会社とは何か」というテーマに関心のある方 ・いずれ社会で働く予定の方には、本講義で扱う程度の知識は備えておいて戴きたい ・「会社」は、経営学の主な研究対象である。履修生にとっては、いずれ就職先ともなる「会社」について学び、考察する機会として戴きたい</p>		
1	「本講義のガイダンス」 ・本講義の概要、成績評価の方法 ・中高教科書の「株式会社」に関連する項目の復習 ・身の回りにある製品・サービスと企業		
2	「現代社会と企業」 ・『会社四季報』『日経会社情報』や『業界地図』に見る現代企業 ・グローバル化が進展する企業活動		
3	「会社の種類とステーク・ホルダー（利害関係者）」		
4	「株式会社とは」 ・上場会社、非上場会社、公開会社、非公開会社の違い ・上場の意義 ・株式市場の仕組み		
5	「株式会社の機関①」		
6	「株式会社の機関②」		
7	「株主総会と株主」 ・株主総会が開かれるまで		
8	「株式の役割」 ・株式と資本金 ・株式の譲渡		
9	「映画：『ウォール街（1987年）』の鑑賞①」 ・株式会社や株式市場のことを学べる名画。ゲッコー役のマイケル・ダグラスは、この作品でアカデミー主演男優賞を受賞。 ・映画を鑑賞しながら、用語解説・背景などを適宜説明する。		
10	「映画：『ウォール街（1987年）』の鑑賞②」と振り返り		
11	「企業の資金調達」 ・資金調達とは ・新株発行と社債		
12	「四季報に学ぶ株式会社の実態」 ・過去 30 年間の四季報、会社情報を用いてのグループワーク ・上場企業の IR 活動		
13	「トップ・マネジメントの役割」 ・所有と経営の分離とは ・コーポレートガバナンス ・経営理念とは		

14	「人を大切にする会社：大企業ばかりではない」 ・ 障害者が働く会社 ・ ダイバーシティ・マネジメント			
15	「本講義の総括」 ・ 本講義のまとめと受講生との質疑応答			
教科書				
タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
ベーシック 会社法入門（第8版）	宍戸善一	日本経済新聞出版社	9784532113339	2015
<ul style="list-style-type: none"> ・もし、他の経営学系科目で使用する<小山他『問いからはじめる現代企業』有斐閣スタジオ>を所有している受講生には、現代企業論の副読本としての使用をお勧めする ・教科書を毎回の講義で輪読するような講義はしないが、予習箇所は事前に読んでおいて戴きたい ・参考資料を適宜配布のほか、映像資料も活用する予定 				
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・小山他『問いからはじめる現代企業』有斐閣スタジオ ・適宜紹介するが、例えば小倉行雄編『経営学入門（放送大学教材）』放送大学出版も参考となる。 ・以下のサイトを参照すること https://manabow.com/（日経 STOCK リーグ → 基礎から学ぼう） https://www.jpx.co.jp/glossary/all/index.html（日本証券取引所グループ → 用語集） 			
成績評価				
評価方法				割合(%)
定期試験				75
レポート and/or 小テスト				25
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験にはA4（指定用紙）一枚のメモ持込み可とする ・出席や復習を確認するための Minutes Paper の提出を求める（Google Classroom 利用も含む） ・質疑応答での適切な返答、討議への積極的参加や貢献を評価 ・質問することで問題意識を高めること 				
学習到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社に関する常識的な基礎項目を理解すること ・我々の日常生活と密接に関わっている企業の、現代的な存在意義を探るための考え方を学ぶこと 			
先修条件	・ 中学の「公民教科書」の該当項目をよく復習しておいて戴きたい。			
実務経験	実務経験有り：外資系企業（米銀・コンサルティングファーム）にて、現業部門管理者としての実務経験を有する。実務経験は本講義全般に関わる。実務経験からの知見も交えて講義を行う。			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・本講義では「株式会社」の基本的概念を学ぶ ・受講生は、板書されていることのみを「書き写す」のではなく、思考のプロセスが分かるようなノート「作成」を心がけて戴きたい ・日頃よりあらゆるメディアを通じ、社会の動きや企業活動に関心を持つとともに問題意識を高めること 			